

日本では「場面緘黙」の理解や治療体制が大変遅れています。

この資料を日本で使われる時は、日本の現状を考えた上で参考にされることをお勧めいたします。

原文：handout 2 ” Addressing the issues of speech anxiety with selectively mute children “
The Selective Mutism Information and Research Association (SMIRA) のHP
<http://groups.yahoo.com/group/smiratalk/>のFiles

資料：配布してください！

場面緘黙を説明するために、この情報を先生や家族、友達、専門家にお伝え下さい。

子どもと共に「話すことへの不安」に取りくむ

A♥

「話すことがどれだけ難しく、声が出ないときにどんなふうを感じるか、私にはわかるよ」と子どもに伝えてあげましょう。子どもは話したいと欲している、そして、ずっと話そうとしてきたけれど、言葉がまるでのどにつかかったようにどうしても話せなくて、とても不安な思いをしているのです。あなたがどのような言葉で子どもに伝えればよいか、どんなふうに話せばよいか、それは子どもの年齢によります。しかし、とても低い年齢の子どもであっても、困難から目をそらしたり、ごまかしたり、間違っているとらえたままにするよりも、問題をきちんと受けとめる方が、ずっと子どものためになるのです。

子どもたちは普通、大人の何気ない言葉を聞いて「話すことは簡単」なのだと思っているものです。幼稚園や学校や家の周りでも、このような困難を抱えている人を見たことがないでしょうから、よけいにそう思うでしょう。子どもは、話すのが怖いとは認めずに、「話したくない」と言うものです（自分でもそう信じ込んでいることも多いです）。「話すことは簡単」とよく言われているけれど、それは誤りなのだということ伝えてあげること、このことは非常に子ども達に安堵感を与えます。このことを伝えることによって、子どもはあなたを信じ、子どもを支援するために、これからあなたが行っていく提案を信頼することができるでしょう。幼い緘黙児は、自分が今どういう状態なのかわからず、とても混乱するものです。このことを伝えることによって、子どもは自分の抱える困難と何とかやっていく枠組みを得ることができ、その中で怖い気持ちを少しでも減らすことができます。

A♣

「決してひとりじゃないんだよ」と伝えてあげること、子どもに役立つでしょう。年長の子どもには（また大人にも）このような状態に「場面緘黙（選択性緘黙）」という名称があり、きちんとした治療法があることを話すと、安心できるでしょう。年令の低い子どもには、こんなふうになるのは決して珍しいことではなく、どうしてこうなるのか説明できること、そして、きっとよくなることを話してあげましょう。落ち着いて、十分話してあげると、子どもは自信を持つことができるようになるでしょう！

A♦

「楽しい気持ちでいることが一番大切」だということ、そしてもし子どもが動揺しているのなら、「あなたはひとりぼっちではなく、私がいつも見守っているし力になれるよ」ということを、強調して伝えてあげてください。子どもが感じている不快な感情を取り除いてあげることが必要です。子どもが「話したくない」と言ったとしても、それは、話す時に感じる不安が嫌だという意味なのです。誰かに物を頼むことができないこと、友だちができないことがどれだけつらいか、わかってあげてください。声が出ない時、子どもが自分をとても情けなく感じているかもしれないことを、どうかわかってあげてください。子どもに「どんなにつらいかよくわかるよ」と伝えてあげましょう。そして、どうすればよくなっていくか、あなたが知っていることを伝えましょう。話すことに注意を向けず、「楽しむこと」に注意を向けましょう。

A♠

あなたが、どんなふうに子どもを支援していこうとしているか説明してあげてください。話すこと不安を乗り越えるには、話さなければいけないというプレッシャーをすべて取り除くことが大切です。子どもが話すことを避ける習慣をつけてしまわないようにするのは、子どもがそこにいて楽しい体験ができているかに注目し、一度にその状況を変化させるのではなく、小さな変化を少しずつとり入れていって、以前ストレスを感じていた状況でも安心していられるようにしていくとよいでしょう。

子どもには、「楽しい気持ちになって、話したいなと思えるようになったら、話せばいいんだよ」と言ってあげましょう。自分のペースでいいのだということを強調してください。「安心できて楽しいことをしていくうちに、少しずつやれることが増えていき、そして他の子がしていることを何でもできるようになるよ」と言ってあげてください。4才くらいなら、このやり方をもう理解できるでしょう。